

授業科目名 <英訳>	東洋史学(特殊講義) Oriental History (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 准教授 宮宅 潔					
配当 学年	1回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2017・ 前期	曜時限	火1	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目	中国古代制度史と出土文字史料										
【授業の概要・目的】											
近年中国古代史の研究に大きな影響を与えている新出史料、すなわち竹簡・木簡史料について概説する。出土地域ごとに発見史をたどりながら、主要な竹簡・木簡群を紹介し、それが歴史研究、特に制度史研究に与えたインパクトについて講義する。											
【到達目標】											
新出史料に関する知識を身につけ、そこからうかがえる古代社会の有様について理解を深め、古代史研究の基礎を確立する。											
【授業計画と内容】											
1．ガイダンス 2．簡牘の発見史 3．墓葬出土簡と秦漢法制史：睡虎地秦簡・張家山漢簡 4．官吏の日常生活：尹湾漢簡 5．辺境の守り：居延漢簡・敦煌漢簡 初回のガイダンスの後、各単元を3～4回に分けて講義する。											
【履修要件】											
中国古代史に関する基本的知識を身につけていることが望ましい。											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
期末のレポート（80点）に平常点（単元ごとの小レポート 20点）を加味して評価する。											
【教科書】											
授業中に指示する											
【参考書等】											
（参考書） 授業中に紹介する											
【授業外学習（予習・復習）等】											
特に予習は必要としないが、授業内容の復習とともに、関連する諸分野の研究にも関心を広げてもらいたい。											
（その他（オフィスアワー等））											
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。											